

国際交流基金（JF）の取組

令和4年8月



JAPAN FOUNDATION

人員と組織

◆ 国際交流基金（JF）は、我が国の国際文化交流を中核的に担う外務省所管の専門機関として昭和47年10月に設立。平成15年10月1日に独立行政法人に移行。

【人員】 役職員数：287名（令和4年4月1日現在）

【予算】 163.5億円（令和4年度当初支出予算）

【組織】 国内：本部、京都支部、日本語国際センター／関西国際センター（附属機関）

海外：24か国に25の海外拠点を設置



国際交流基金（JF）の3つの活動領域

文化芸術交流



Courtesy of The Metropolitan Museum of Art/BFA.com

演劇、音楽、ダンス、美術、建築、デザイン、文学、映画、テレビ番組等、多様で豊かな日本の文化芸術を世界各地に向けて発信。アーティスト同士の対話の機会を生み出す国際共同制作も実施。

海外における日本語教育



日本語をより学びやすく、より教えやすいものとするため、日本語教育の基盤や環境を整備。経済連携協定や在留資格「特定技能」による外国人材向け日本語事業も実施。

日本研究・国際対話



世界各国の人々に日本がより深く理解されることを目指し、海外の日本研究支援や、多様なレベルでの対話を促進。

海外ネットワークの活用

- 国際交流基金が創設以来培ってきた海外文化機関や文化関係者とのネットワークの活用
 - ✓ 海外拠点・在外公館を通じた顔の見える関係性
 - ✓ 日本文化発信のハブとしての海外拠点
- 将来に亘り良好な関係を維持するための次世代人材育成への注力

例1

パリ日本文化会館
(国際交流基金パリ事務所)

- フランスにおける日本文化発信拠点として1997年に設置
 - ✓ 諸外国の文化機関が多数集まる 国際文化都市、文化外交の交差点
- 日本が海外に持つ最大級の総合的文化交流施設
 - ✓ 長年に亘り構築した現地の文化機関・関係者とのネットワーク活用
 - ✓ 多くの日本ファンや文化関係者を集める、日本文化発信の拠点



- 日仏友好160年に当たる2018年に、
パリを中心に日本文化を大規模かつ集中的に紹介する「ジャポニスム 2018」を開催



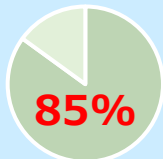
- 2018年7月～2019年2月まで、歌舞伎、能・狂言、雅楽等伝統芸能から、現代演劇、美術やマンガ・アニメ展、日本映画の上映等まで様々な文化事業を、大規模かつ集中的に企画・実施。企画数総計**300以上**。
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、日本のお祭りや伝統工芸等を通じて、地方の魅力を発信。インバウンド観光の促進、和食・日本酒等日本製品の海外展開にも貢献。
- 7月の開会式に河野外務大臣が出席、9月に皇太子殿下が御視察、10月に安倍総理大臣が視察（いずれも当時）。

来場者・観客数

約353万人

- 【主要企画の事例】
- ✓チームラボ展
 - ✓琳派展
 - ✓エッフェル塔ライトアップ
 - ✓2.5次元ミュージカル
 - ✓地方の魅力 - 祭りと文化-

アンケート結果

日本文化をもっと
知りたいと思った日本に親近感を
感じるようになった

※約1万8千人へのアンケート結果

訪日観光客数

前年比13.5%増2018年訪日フランス人
観光客数**30万人以上**

報道件数

**10,000件以上
(日仏合計)**報道例：2019 2/28
読売新聞朝刊報道例：2018
11/29 Le Monde紙「チームラボ：境界のない世界」展
©teamLab『琳派展』 国宝 〈風神雷神図屏風〉
依屋宗達筆 京都・建仁寺蔵 江戸時代2.5次元ミュージカル： 地方の魅力 - 祭りと文化-
『Pretty Guardian Sailor Moon』 (徳島県 阿波踊り)
The Super Live

人材育成・ネットワーク構築への取組成果

ロバート・シンガー

ロサンゼルス・カウンティ美術館日本部門長

- 1974年度 国際交流基金日本研究フェロー
- ✓ 2019年米国ロサンゼルス・カウンティ美術館及びワシントンDCのナショナルギャラリーにて開催された「日本美術に見る動物の姿」展を企画・監修
- ✓ 同展はウォール・ストリート・ジャーナル紙の「2019年のベスト・アート」の一つに選出



「日本美術に見る動物の姿」展を案内するロバート・シンガー氏（右）
(c) Museum Associates/LACMA

マリア・ブレヴィンスカ

ザヘンタ国立美術館キュレーター

- 令和元年度 石橋財団・国際交流基金日本美術リサーチ・フェロー
- ✓ 2021年11月、ポーランド・ワルシャワのザヘンタ国立美術館にて開催された「集団と個の狭間でー1950年代から60年代の日本前衛美術」展を企画
- ✓ 大規模な日本の戦後前衛美術に関する展覧会として大きな注目を集め、ポーランド文化大臣等約4万人が来場



photo: Jakub Celej / Zachęta Archive, CC BY-SA . 40 International

加速するデジタル時代への対応

● デジタル・コンテンツの効果的な発信

- ✓ SNSプラットフォームによる配信
- ✓ 日本文化の多様な魅力を紹介するプログラム
- ✓ 多言語対応の充実

● 日本各地の魅力的な文化機関やアーティスト等と連携した発信

ウィズコロナ・ポストコロナにおけるリアル事業機会への関心喚起
日本各地の文化芸術振興への貢献

例1

舞台公演オンライン配信プロジェクト STAGE BEYOND BORDERS



- 現代演劇、ダンス・パフォーマンス、伝統芸能等の多彩な質の高い作品を配信
- 全93作品、**最大11言語の字幕**を付与
- **135か国・地域**、再生回数約1,350万回 (令和4年7月現在)



(C) 猪熊康夫 (C) 川島浩之 (C) 田村克也

例2

オンライン日本映画祭



- 20作品を**15言語の字幕**付きで配信 (令和4年2月14~27日)
- 25か国・地域／延べ視聴者数約32万人
- オンライン上映にあわせた作品等情報発信
- 映画館での上映とオンラインイベントを組み合わせたハイブリッド型事業の実施 (シンガポール)



日本映画発信ウェブサイト JFF+

例3

「美術館への誘い」

- 日本国内の個性的な美術館（日本各地**全24館**）の紹介ビデオを制作し、4つのテーマに分けて、5か国語（英、西、葡、中、亜）の字幕を付し、2022年8月からオンライン配信を開始。各美術館の魅力をアピールするとともに、日本のアーティスト・建築家等の情報を多面的に発信。

① 自然とともにある美術館



足立美術館（島根県安来市）



② 建築家が自作を語る美術館



豊田市美術館（愛知県豊田市）



③ アーティストのための美術館 ／アーティストによる美術館



草間彌生美術館（東京都新宿区）



④ デザインを新しい視点から 発信する美術館



日本民藝館（東京都目黒区）

